

リアルタイム利用可否の設定

Note

Almaでは設定をすることなく、リアルタイムで可用性が更新されるため、この機能はPrimo VEには適用されません。

[メニューに戻る](#)

この手順は、インストールレベルの設定を行い、全般設定ウィザードにアクセスできるオンプレミスのカスタマーにのみ適用されます。

Primoは、リアルタイムの利用可否を使用して、物理的アイテムのステータスが最新であることを確認します。Almaには、Primoがリアルタイムでステータスを確認できるAPIがあります。リアルタイムの利用可否の詳細については、「[リアルタイムの利用可否](#)」を参照してください。

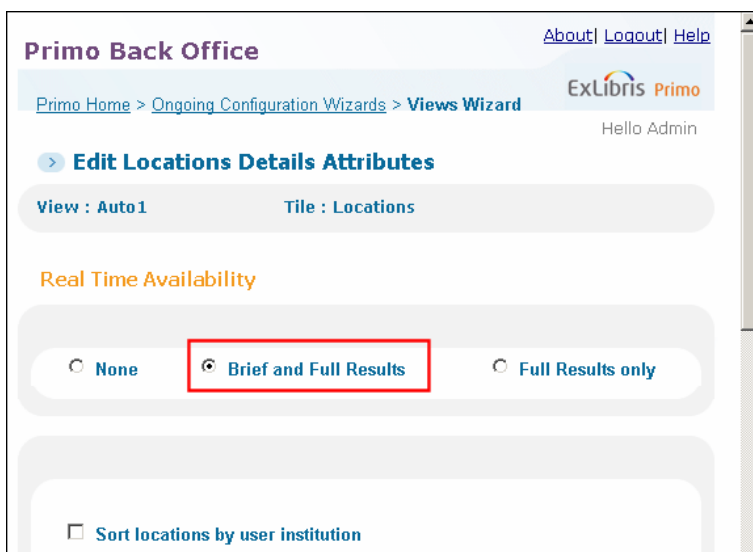
Note

Almaコンソーシアムの場合、リアルタイムの利用可否は、最初はビューのデフォルト機関に属するアイテムについてのみ実行されます。ユーザーがクラシックUIで[Get It]タブを選択するか、新しいUIでレコードの完全な詳細を表示すると、他機関からの利用可否が更新されます。さらに、利用可否は簡易表示で更新されます。

このセクションでは、Almaで使用するためにPrimoでリアルタイムの利用可否を設定する方法について説明します。

Almaでのリアルタイムの利用可否を設定するには：

1. ビューウィザードの排架場所タイトルを更新して、概要結果と完全な表示でRTAを有効にします。



ビューウィザードの排架場所タイトル - RTAを有効にする

2. [Primoホーム] > [継続的な設定ウィザード] > [機関ウィザード] ページで、[RTA URL] フィールドが正しく定義されて

いることを確認します。

Delivery Base URLs:

MetaLib

SFX

ILS

Alma

Alma Services Page URL

Digital Repository

Digital Repository 2

Digital Repository 3

RTA

API

機関ウィザード - RTA基本URLの設定

3. [詳細設定] > [一般的な設定ウィザード] ページで、**RTA**サブシステムを選択し、[マッピングデータのRTA方法]フィールドでnormalization_rulesを入力し、[保存して続行]を選びます。

> General Configuration

Sub System :

General Configuration of Sub System " RTA "

	Value	Last Updated
RTA method for mapping data	<input type="text" value="normalization_rules"/>	09/06/11 by Primo
RTA Timeout	<input type="text" value="20"/>	09/06/11 by Primo

Cancel & Go back Save & Continue

一般的な設定ウィザード - RTAマッピング方法の設定

4. [詳細設定] > [すべてのマッピングテーブル] ページで、アダプターサブシステムを選択し、RTAアダプターテーブルを編集します。
5. **Alma**アダプターを有効にし、[保存]を選択します。

Mapping Table Rows

Enabled	Adaptor Identifier*	Key*	Value*
<input type="checkbox"/>			
<input checked="" type="checkbox"/>	Voyager	Class	com.exlibris.primo.utils.rta.nmrt.VoyagerRtaAdaptor
<input type="checkbox"/>	Voyager	Class	com.exlibris.primo.utils.rta.voyager.VoyagerConcreteCc
<input type="checkbox"/>	Aleph	Class	com.exlibris.primo.utils.rta.AlephConcreteConnector
<input type="checkbox"/>	III	Class	com.exlibris.primo.utils.rta.iii.III MillenniumRTAAdaptor
<input checked="" type="checkbox"/>	Alma	Class	com.exlibris.primo.utils.rta.nmrt.AlmaRtaAdaptor
<input checked="" type="checkbox"/>	Aleph	Class	com.exlibris.primo.utils.rta.nmrt.AlephRtaAdaptor

RTAアダプターマッピングテーブル - Almaアダプターの有効化

- [詳細設定] > [すべてのマッピングテーブル] ページで、バックオフィスサブシステムを選択し、リアルタイム利用可否テーブル(正規化ルールを使用)を編集します。
- Almaソースシステムを有効にし、次のフィールドを設定して、[保存]を選択します。
 - マッピングセット名 - 正規化ルールセットの名前を入力します。
 - データソースコード - Almaデータソースのコードを入力します。
 - アクティブにする/しない - このフィールドを選択して、正規化ルールをアクティブにします。

Mapping Table Rows

Enabled	Source System	Mapping Set Name	Data Source Code*	Active Y/N	Description
<input type="checkbox"/>	Aleph	ALEPH MARC - Template	primo_aleph	Y	
<input type="checkbox"/>	Voyager	Voyager - Template	primo_voyager	N	
<input checked="" type="checkbox"/>	Alma	Alma MARC - Template	primo_alma	Y	
<input type="checkbox"/>	III	ALEPH MARC - Template	primo_other	N	

Table Description: Defines Real-time Availability settings for mapping by normalization rules

RTA(正規化ルールを使用)マッピングテーブル

Note

表示/availlibrary PNXフィールドに影響する変更が正規化ルールに加えられた場合、このテーブルを展開する必要があります。

Almaのリアルタイム利用可否の結果を確認するには：

- 次のURLを使用して、Almaに使用されるフロントエンドにアクセスします。

```
https://<Alma domain>/view/publish_avail/
X?op=publish_avail&doc_num=<intellectual_entity_id>&library=<institution code>
```

- 検索を実行して、簡易表示と完全な表示で利用可否ステータスが正しく更新されていることを確認します。